



G.P.S 今昔

(中国西域の旅に参加してG.P.Sにより緯度、経度、高度を測定する)

鶴田 実

11年前の1993年5月~6月、中国・四川省の奥地を1ヶ月かけて旅行した(毛沢東のロングマーチルート踏査)。その折、参加者の一人が高価なGPSレシーバー(PANASONIC KX-5500 約30万円)を購入し持参した。参加者全員が測定結果やいかにと期待したが、新しい機材で不慣れもあってなかなか結果を出せなく、ようやく開けた峠越えで人工衛星がつかまり、北緯、東経、高度が測定できた。喝采であった。持参した地図と照合したところ現在地が確認できた。高度は4300mと記憶しているが、北緯、東経の数値は残念ながら失念した。

当時、日本では中国の地図は販売されておらず、丸善書店を通じて米国から取り寄せた1/400万の地図をこの旅行に使用した。

今回、この中国西域の旅に参加するにあたり自分に何か簡単に出来る事は無いだろうかと色々考えを巡らせて思いついたのが、このGPSレシーバーによる宿泊地、主要地の緯度、経度、高度の測定であった。

早速、GPSレシーバー(イトレックス、レジェンド 4万8千円)を購入した。

事前に練習と思い、高度順応の為の富士山登山を2回計画していたのでこの登山に持参して使用法を練習して何とか測定できることが確認できた。

以下に記したのがこの旅での日程、宿泊地、主要地の緯度、経度、高度の測定結果です。

尚、旅先での測定値の緯度、経度の日本との位置関係が判れば便利かと思い、日本に帰ってから1/2.5万の地形図により新東京国際空港、第二ビル等の緯度、経度、高度を計算して記事の最初に記入した。緯度、経度の表示は世界測地系である。

測定結果(2004.7.16~8.16)

- 1日目7/16 成田空港第2ターミナルビル
北緯35°46' 25.0 東経140°23' 18.0 高度40m
- 2日目7/17 カラチ(パキスタン)ホテル中庭
北緯24°53' 41.3 東経067°09' 13.4
- 4日目7/19 カトマンズ(ネパール)ホテル玄関前
北緯27°43' 23.8 東経085°19' 14.6 高度1311m
- 6日目7/21 ニヤラム(チベット)ホテル前道路
北緯28°09' 23.6 東経085°58' 50.4 高度3778m
- 8日目7/23 薩嘎(サガ)ホテルのビル中庭
北緯29°19' 49.2 東経085°13' 52.5 高度4530m

- 9日目7/24 パルヤン(チベット)ロッジの中庭
北緯30°02' 35.4 東経083°27' 58.3 高度4594m
- 10日目7/25 タルチェン(チベット)ホテル中庭
北緯30°58' 31.1 東経081°17' 10.1 高度4640m
- 11日目7/26 阿里(アリ)獅泉河飯店の前
北緯32°30' 24.1 東経080°05' 54.6 高度4290m
- 12日目7/27 多馬(ドマル)、ロッジの広い中庭
北緯33°42' 48.0 東経080°22' 33.9 高度4440m
- 13日目7/28 チベット 途中の奇坂大阪峠
北緯35°41' 05.7 東経079°29' 35.0
同日 大紅柳灘、トイレが無く河原で用足し。その河原
北緯35°58' 48.3 東経079°11' 22.7 高度4232m
- 15日目7/30 麻札(マザル)峠
北緯36°34' 44.2 東経77°00' 11.8 高度4992m
同日 叶城(イエチェン)ホテル前
北緯37°57' 11.0 東経77°25' 15.4 高度1355m
- 17日目8/1 喀什(カシュガル)新疆ウイグルのホテル
北緯39°28' 02.7 東経075°59' 40.7 高度1298m
- 19日目8/3 叶城(イエチェン)ホテル前
北緯37°57' 11.0 東経77°25' 15.4 高度1355m
- 20日目8/4 和田(ホータン)健力苑ホテル前
北緯37°06' 30.4 東経79°56' 06.9 高度1730m
- 22日目8/6 新疆ウイグル民豊、西域ホテル前
北緯37°03' 48.3 東経82°41' 22.9 高度1412m
- 23日目8/7 タクラマカン砂漠途中
北緯39°23' 25.1 東経83°51' 35.2 高度1036m
同日 輪台(ルンタイ)ホテル前
北緯41°46' 47.9 東経84°16' 52.1 高度1139m
- 24日目8/8 車庫(クチャ)
北緯41°42' 21.5 東経82°59' 43.4 高度1045m
- 26日目8/10 庫爾勒(コルラ)白鷺州ホテル前
北緯41°45' 59.5 東経85°09' 20.6 高度944m
- 27日目8/11 回族自治州景ホテル前
北緯42°03' 14.9 東経86°25' 04.1 高度1011m
- 28日目8/12 烏魯木齊(ウルムチ)ホテル前
北緯43°46' 22.3 東経87°34' 56.7 高度1615m
- 30日目8/14 吐魯番(トルファン)高塔前
北緯42°56' 03.5 東経89°12' 20.8 高度-7m

注記: この原稿は2004年7月に西域(ヒマラヤ・崑崙・天山山脈)縦断6000kmの旅に参加された鶴田さんの報告書より転載したものです)

行きましょう

読図研修案内

2008年4月20日(日) 場所: 大菩薩西南部

集合: JR 中央本線・塩山駅 北口9:00
新宿7:18(あずさ73号)または7:30(あずさ3号)が便利です。

塩山からタクシーで上日川峠、できれば中日川峠まで上がります。ここから日川尾根を南下。源次郎岳、恩若ノ峰から下萩原を経て塩山に至ります。

ほぼ全コースが踏み跡程度からさらに藪となると思われますので、楽しく歩きましょう。

中日川~塩山: 約5時間

地形図: 1/2.5万「大菩薩峠」「塩山」

ポイント: 中日川峠、1627.1峰、下日川峠、分岐、源次郎岳、1050m峰の先の小ピーク(直角に北西に曲がる)、恩若ノ峰、ミツ沢乗越

(担当: 北野)

行ってきました (読図研修番外件ワグ)

中央線沿線「山の字に見える山」

今井 秀正

JR中央線の上野原と四方津の間の南側に四方津駅方面から見ると「山」の字の形に見える山があるとのことで、北野代表に計画いただき、その山の字の真ん中と左にあたる二つの山に登ることになった。因みに今日の計画にはないが、右の字画は鶴島御前南西の420m峰ということだそう

コースは文字の裏側から登ることになるのだが、まず「山」の中央字画である鶴島御前山(484.1m) 続いて左字画の栃穴御殿山(431m)を縦走し、次に一度下山して山の字として見ることが出来る四方津駅方面へ進み、駅東北の四方津御殿山(460.9m)に登るというコースである。

3月22日土曜日午前9時25分、上野原駅集合の計画にあわせ、今日は何人パーティーかな、と思いつつ出かけた。

集合したメンバーは北野代表、片野さん、鶴田(泰子)さん、今井の4名で、早速、駅の東南の桂川橋を渡って駒門集落西の登山口を目指した。橋の手前から鶴島御前が小さいがお結び形で見え、その右側にさらに小さいが三角の栃穴御殿が続いているのが見えた。その傾斜から急登は予想された。コースは水平距離500mほどで270m位登り詰めると鶴島御前頂上。次に100mほどおろされて50m位登り返して栃穴御殿。そこから尾根に沿って栃穴の集落まで下ることになる。最初の急登は40分ほどのコースタイムで、しかも補助のロープもあったので体力の消耗はそれほどでもなく、間もなく四等三角点の鶴島御前山頂に到着した。北側はちょっと霞がかかった上野原の家並みとその後の山々の重なりを春の景色らしく眺めることが出来た。南側の直下はまた芝生が冬色のゴルフコースが見えた。頂上付近には少ないとはいっても、ツバキやサンシュユらしい花が咲き、風もない春満喫の気分であった。

20分ほど展望と軽食を楽しんでから栃穴御殿へ向かった。コースはやはり予想通りの急な下降で、足元に気を取られていると高柄山方面への縦走路から栃穴への分岐を見落すかもしれない様な緊張を強いられた。直角に右へ分かれた下りは手がかりになる木々がたくさんあって大いに助かった。鞍部へ降りてからの登り返しの傾斜はさらにきつく、目の高さの木の根を手がかりにしなければ登れないほどで、緊張が連続し、低い山でのそれは思いのほかであった。程なく栃穴御殿着、何の標識もない頂上で展望はない。ここで昼食をとって、食後は地理クラブらしく今日のコースをシルバコンパスで測定し、鶴島御前から下山地点の栃穴集落までほぼ310度の一直線であることを確認した。

引き続き急傾斜を下り、傾斜がゆるんだ頃、栃穴集落へ出た。民家の脇の細道を桂川まで下り、錆びたワイヤのつり橋で桂川を渡った。川から登り返して甲州街道へ出、西の四方津方面へ進みつつ、登山路が確認できていない四方津御前山への登り口を探した。当月の集落付近から見る限り頂上直下はかなりの急傾斜で、まず直登は難しいと判断した。等高線の混み具合から、頂上西側の新興住宅地「コモアしおつ」の東端あたりに登山路があるのではないかと考えて、四方津駅から話題になったニュータウンへの長いエスカレーターを利用することにした。

ニュータウン東の山裾を探ったが登山路は見つからなかった。藪をこいで稜線を探っている今井を見上げる3人組を見た近所のご婦人が訝しく思い、雉でもいるのかと声をかけてきたとのことで、事情を話したところ幸いにも「あの付近に登山口があったと思う」というアドバイスを受けたとのこと。小生も雉になった甲斐があったというところだ。早速、ニュータウンから甲州街道へ続く取り付け道路を少し下り、沿線N35°3

700, E139°0455 付近の料亭東側に標識を確認した。14時半を過ぎていたが、せっかくだから、という片野さんの意気込みと先導に励まされ、25分で四方津御前山へ登頂することが出来た。今日のコースで一番整備された路だった。三等三角点の頂上からの展望はないので100mほど東の無線中継塔付近から今日歩いた山を眺めて目的を果たした。帰りは往路をそのまま戻り、15時50分に無事四方津駅へ到着することが出来た。

小さな山であってもそれなりに体力を使い、緊張し、地図に情報もない登山路を探して最初の目的を果たせたことで全員「満足」な春の一日であった。

付近には御前または御殿と名がつく山がまだ幾つかあるのだそう。次の目標にしてみるのも面白いかもしれない。

<コースタイム記録>

上野原駅9:35 9:55 登山口10:00 10:40 鶴島御前山(四等三角点)11:00 11:40 栃穴御殿山 12:15 12:50 栃穴集落 13:00 13:40 四方津駅 13:40 13:55 ニュータウン公園 14:00 (登山口探索) 13:35 登山口 13:55 15:00 四方津御前山(三等三角点) 15:20 15:50 四方津駅
以上

例会の議事録

2008年3月5日(水) 19:00~20:00 於 JAC 集会室 A2

出席者 8名(北野、平野、遠山、近藤、高橋、大西、寺田、寺田(順不同))

内容: 読図山行2/16実施)AGCレポート9号に報告掲載(近藤) 次回読図山行の件、3/22(土)鶴島御前山(詳細は案内欄に掲載、9号掲載は間違いなので時間等注意のこと)、御前山の解説(北野) 第5回読図山行・4/20(日)大菩薩南西部(詳細は案内欄に掲載、(北野) 地図整理の件・全ての図幅名のデータ化完了。マップケースに分類移動中(近藤) GPSの誤差について、夏冬・昼夜の違いで衛星の位置が変わるため誤差が発生することが実験により判った。(本号別掲)(遠山) 科学委員会主催の探索山行の案内「富士山南面の植生・地質・古道」6/14-15バスで往復(平野)以上終了後「鯨の家」にて懇親会(8名) 以上(文責近藤)

お知らせ

会費徴収のおねがい

2008年度分の会費をまだ未納の方は宜しくお願ひいたします。例會に出席できない方は、ゆうちょ銀行の口座に振込ください。

口座 記号番号 10130 12841191 タカハシモトコ

(会計・高橋)

次回の例会

日時 4月2日(水) 18:30から 於:山岳会 ルーム

テーマ: 読図研修、ほか

例会終了後の懇親会も是非出席ください

なお、同日 15:00から地図整理を行います

編集後記

> 今月は遅くなり申し訳ございません。予定していた原稿が届かず間際になって、読図山行の報告書が届き、ようやく紙面を埋める事ができたものの、何となく殺風景なレイアウトになってしまいました。文字だけのレポートもたまにはお許しください。> 原稿はいつでも受け付けていますので、みなさん遠慮なく投稿ください。(kon)

AGCレポート vol-10 2008年3月26日発行

発行: 日本山岳会・山岳地理クラブ

〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会 気付

TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441

編集担当: 近藤 E-mail: hikarikon@nifty.com